

- 新たに導入する自動操舵トラクターの導入効果を最大化するため、枕地を確保することで旋回効率が向上。
- 耕起から収穫までの一貫した作業体系を構築し、労働生産性の向上を目指す。

経営上の課題

構成員の高齢化に伴う世代交代に当たり、作業効率の向上及び若手オペレーターの育成が急務。

スマート農業技術を導入し、オペレーターの技術を平準化し、耕起から収穫までの一貫した作業体系を構築する必要

申請者：
農事組合法人ユキノー（北海道深川市）

対象品目：
馬鈴薯（加工用）

スマート農業技術：
自動操舵トラクタ

新たな生産方式：
枕地の導入による自動操舵トラクタの作業効率向上

活用予定の支援措置：
補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

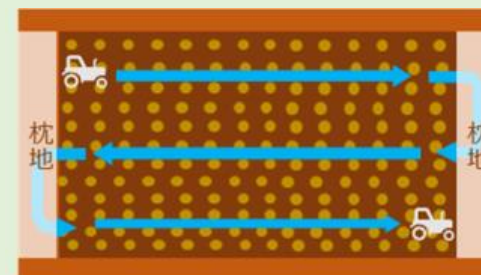
自動操舵トラクタ



自動操舵トラクタによる
収穫作業の効率化

新たな生産方式

枕地の導入



枕地を確保することにより、
旋回効率が向上することで、
労働投入量が減少

スマート農業技術を利用した一貫作業体系を構築